

## 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## 運用実績等

ファンド概要	
設定日	2016/06/30
信託期間	原則 無期限
決算日	毎年1月,4月,7月,10月の各25日(年4回)
信託報酬率	2.365% (税抜 年2.15%)
基準価額	10,643円
純資産総額	1,284,227,187円

※決算日が休業日の場合は翌営業日となります。

※信託報酬率2.365%(税込)の他に運用成果に応じた実績報酬がかかります。

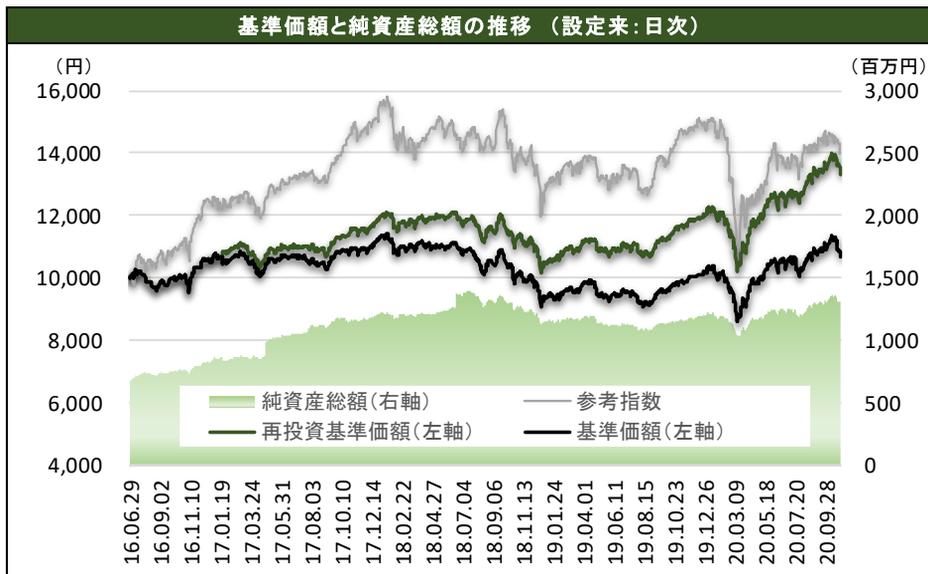
期間収益率		
	当ファンド	参考指数
過去1ヶ月	-1.44%	-2.84%
過去3ヶ月	+7.51%	+6.47%
過去6ヶ月	+11.99%	+8.95%
過去1年	+15.07%	-2.95%
過去3年	+15.98%	-4.00%
設定来	+33.14%	+39.99%

※税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。

※参考指数は、TOPIX(東証株価指数 配当込み)を指します。

分配実績(1万口当たり、税引前)	
設定来合計	2,325円
第15期(2020年04月27日)	75円
第16期(2020年07月27日)	300円
第17期(2020年10月26日)	150円

※直近3期分(1万口当たり税引前の金額)



※基準価額は、信託報酬(年率概算(税込)2.365%)控除後の値です。

※再投資基準価額の推移は、税引前分配金を全額再投資したものと算出しているため、実際の受益者利回りと異なります。

※参考指数は、ファンド設定日前日のTOPIX(東証株価指数 配当込み)を10,000とした指数を使用しています。

TOPIX(東証株価指数)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の動向きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

資産構成	
日本株ロングショート戦略マザーファンド	98.48%
コール・ローンなど	1.52%
合計	100.00%

ハイ・ウォーターマーク	
次回計算期間の終了日まで	11,012円
※決算日前営業日の公表基準価額が翌期のハイ・ウォーターマークに更新されます。	

※決算日に収益分配金が発生した場合には、決算日前営業日の公表基準価額から収益分配金を控除した価額が、翌期のハイ・ウォーターマークとなります。

※信託報酬のほか、実績報酬を設けており、超過収益が発生した場合には収益の22.0%(税抜20%)が各決算日および償還時に支払われます。なお、実績報酬は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することはできません。

※計算期間中にファンドの解約をした場合には、解約価額(基準価額公表から信託財産留保額を控除した額)が既に実績報酬を含んで算出されておりますので、追加で実績報酬が発生することはありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。

## 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## 日本株ロングショート戦略マザーファンドの状況

当ファンドは、主として日本株ロングショート戦略マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)に投資を行い、株式ロング・ショート戦略での絶対的リターンにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。以下は、マザーファンドの運用状況になります。

## 当月末のポジション状況

エクスポージャー	ロング・ポジション	ショート・ポジション
L/S エクスポージャー	82.13%	-10.51%
グロス・エクスポージャー	92.64%	
ネット・エクスポージャー	71.62%	

*流動性	ロング・ポジション	ショート・ポジション
1 - day	99.52%	96.80%
3 - day	99.64%	100.00%
5 - day	99.74%	100.00%

※25日平均出来高の20%を売買する前提としています。

保有銘柄数	ロング・ポジション	ショート・ポジション
208 銘柄	197 銘柄	11 銘柄

※保有銘柄数は、組入れの株式と上場投資証券の数を表示しています。

時価総額別	ロング・ポジション	ショート・ポジション
Mega (≥5,000億円)	33.04%	-1.69%
Large (2000~5000億円)	17.34%	-1.50%
Mid (500~2000億円)	18.38%	-1.58%
Small (200~500億円)	10.96%	-0.84%
Micro (≤200億円)	2.41%	0.00%
株価指数先物等	0.00%	-4.90%

## 銘柄別組入れ上位5銘柄

ロング・ポジション					ショート・ポジション	
銘柄コード	市場	銘柄名	業種等	純資産比	業種等	純資産比
1	8806 東証1	ダイビル	不動産	1.54%	株価指数先物	-4.11%
2	3788 東証1	GMOグローバルサイン・ホールディングス	情報通信	1.32%	情報通信	-0.96%
3	6367 東証1	ダイキン工業	機械	1.28%	小売	-0.95%
4	8818 東証1	京阪神ビルディング	不動産	1.13%	小売	-0.75%
5	6861 東証1	キーエンス	電気機器	1.13%	小売	-0.51%

※上記内容は、マザーファンドの組入れ銘柄の紹介を目的として作成しましたが、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

※上記内容は、作成基準日における情報を元に作成していますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。

※当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

※業種については、東証33分類をもとに分類しております。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

## 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## マンスリーコメント

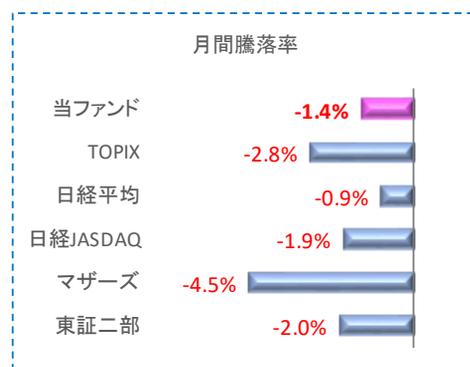
## 市況概況

日本株については、日経平均株価-0.9%、TOPIX-2.8%、中小型株については、東証マザーズ指数-4.5%、日経JASDAQ平均-1.9%と、ほぼ全面安の展開となりました。

10月は、世界的に、米国の追加経済対策、米国大統領選挙、コロナウイルスの3つの動向に左右される展開となりました。前半は、米国の追加経済対策の中身が決まらない中で、米国大統領選挙についてバイデン氏有利の報道がむしろ株価の下支え要因となり、世界的に株価は概ね堅調に推移しました。

しかし、後半は、米国大統領選挙における不透明感の台頭、欧米でのコロナウイルス感染者増を通じた世界景気への懸念拡大で、株価は低調な推移となりました。

日本株についても、前半は概ね堅調な推移となりましたが、後半は世界的株価下落を受けて、下落基調が続きました。特に、東証マザーズ指数は、14日までの2週間で11%程度上昇した後に月末まで14%程度下がるという乱高下を演じ、中小型株堅調相場の終焉の可能性を示唆する推移となりました。



※上記記載の株価指数は配当込み指数ではありません。

## 運用概況

今月の当ファンドのパフォーマンスは、前月末比-1.44%の下落率となりました。

まず、月中の日本株の動きについては、月初では日経平均株価で22,000円から24,000円という広いレンジでのボラティリティの高い展開を予想していたのに対し、10月実績は、安値22,948円、高値23,725円、終値22,977円と、概ね想定内の展開ではありませんでしたが、月後半の小型株の弱さは、やや想定外でした。

当月の日本株のセクター別パフォーマンスは、騰落率上位が、海運、保険、金属製品で、医薬、鉱業、陸運がワーストパフォーマンスとなりました。上昇セクターはわずか6セクターという結果に終わりました。全体的には、グロース株優位の先月とは異なり、大型株優位、小型株劣位の展開となりました。

その中で、当ファンドでは、バリュー株優位とグロース株劣位を予想して、ロングサイドにおいてグロース株の保有量を抑え気味に推移させました。また、巣ごもり需要の増大の恩恵を受けて今期の業績が好調の小売り企業については、その継続性を疑問視して、主にショート目線で臨みました。それらの戦略は、概ね正しかったと考えております。しかし、ロングサイドで抑え気味に保有していた中小型グロース株の下落幅が想像を超える大きなものとなり、株価下落の波に相応の抵抗力を示した大型株を9月から一貫して積み増した効果を相殺する結果となり、マイナスリターンを余儀なくされました。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## マンスリーコメント

### 今後の運用方針

米国大統領選挙の結果は現段階では判明していない中、不確実な状況が続く可能性もあります。これは、金融市場が最も嫌う「不透明性」にほかならず、本来的には警戒すべき要因と言えます。

しかし、この4年に1回のイベントを通過したことが重要だと考えられる上に、世界は「コロナウイルス」という人類の敵に直面していることから、米国大統領が誰であるかの要因は通常より霞んで見えるように思われます。そうであれば、以下の2つの要因により、株価が大きく崩れるリスクは限定的と考えられます。

- ① FRB（連邦準備制度理事会）の物価上昇率2%認容で、低い実質金利が続き、資産価格上昇の下地ができたこと
- ② 各国の低金利政策で、「マネー量の拡大」と「債券忌避の流れ」が続き、マネーのコモディティ、株などへのフローが強まること

加えて、日本株については、世界的リスクオンにおけるハイベータ性発揮の可能性、日本株のアンダーウェイト傾向、米国長期金利上昇による円安の可能性という独自要因があり、引き続き相応の株価上昇の可能性も出てきております。一方、北半球の冬場到来による、コロナウイルス感染者の再拡大のリスクには、念のため注意が必要と思われれます。

以上のシナリオを考慮して、11月の日本株については、ドル円100円～110円前提で、日経平均株価で23,000円から25,000円（先月予想レンジのプラス1,000円）のレンジでの展開を予想します。

その上で、当ファンドでは、短期的な「冬場のコロナウイルス感染再拡大リスク」と、長期的な「人々のコロナウイルスに対する警戒感緩和」のバランスを踏まえた運用を行って参ります。具体的には、まずロングサイドにおいては、バリュエ株相場への備えを日々高めていく一方で、「コロナウイルス後の新世界」に中長期的に妥当しうる銘柄の保有、発掘にも注力し、今後数か月を見据えた運用を行って参ります。またショートサイドは、引き続き、コロナウイルス問題に過大評価がなされたセクター、銘柄を対象として、銘柄数と一銘柄当たりの残高を増やしていく所存です。

### 【 重要なお知らせ 】 モーニングスター社の総合レーティングで5つ星を獲得しました

当ファンドは、モーニングスター社から、2020年8月末基準で、**設定以来初の「5つ星」**を獲得し本資料作成基準日時点でも「5つ星」を維持しております。

弊社ファンドとして、かつ、ファンドマネジャー大木将充の運用するファンドとして、「MASAMITSU日本株戦略ファンド」に次ぐ本目の5つ星獲得です。本ファンド自体の愛称が「いつつぼし」であり、かつ、弊社名称の根幹も「ファイブスター」であることから、運用するファンドについて、「5つ星」を獲得することは、当初からの目標でした。

ただし、この目標は通過点に過ぎず、これからも、同レーティングの維持のみならず、更なるランキングの向上に向けて、全力を挙げていく所存です。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## マンスリーコメント

### 今月のトピックス ～ 今年に航空業界に入れなかった学生は、去年に航空業界に入った学生の何倍も幸せかもしれない ～

若気の至りかもしれないが、私は、中学生の頃にパイロットに憧れたことがあった。日本航空や全日空に入りたいと、航空関連の書籍や、飛行機操縦法の本まで買い集めたものだ。しかし、その夢はあっけなく潰えた。視力がパイロットになるために最低限必要な水準に足りなかったからだ。そのことを知って、2-3日は何もする気が起きないほど、絶望的な気持ちになったことを覚えている。

翻って、今年の学生の就職活動を見ると、コロナ問題で、風景が180度変わった印象を受ける。求人が目に見えて減るのみならず、航空業界や外食業界は、存続自体が厳しくなるほどの環境の激変に見舞われ、新規採用が大きく絞られる形になった。特に、航空業界は、子供の頃から憧れていて、そこに就職するために学校を選んだような学生も数多く存在するため、今年に門戸を閉められた学生には同情せざるをえない。

しかし、物事を違う角度で見よう。去年、航空会社に合格した学生は、就職後1年も経たないうちに、前代未聞の会社の窮状に見舞われることになっているのだ。挙句の果てには、航空会社に就職したのに、スーパーマーケットや家電業界に出向させられる可能性さえ出てきている。そのような苦境が短期で終わればいいが、今度ばかりはそうはいかないと考えざるをえない。ビジネスで人が移動しなくても構わないケースが多々あることが判明した上に、ESG（環境、社会、ガバナンスの頭文字）の観点から、人が二酸化炭素を多く排出する飛行機に乗る意義がこれから益々厳しく問われていくからだ。

もっと、厳しい比喩を展開させて頂くと、飛行機のパイロットは、タクシーの運転手と何が違うのか？ 客室乗務員は、喫茶店のウェ이터やウエイトレスと何が違うのか？ 飛行機の整備士は、自動車の整備工と何が違うのか？ 多くの学生は、「飛行機」というイメージ向上フィルターを通じて、自分になりたいという職業に勝手にファンタジーを加えていないか？ パイロットも客室乗務員も整備工も、将来はAI（人工知能）、IOT（モノのインターネット）、FA（工場自動化）などに駆逐される代表格の職業ではないのか？

その意味で、私は、航空業界に就職できず悲しみに暮れている学生に、こう申し上げたい。「あなた方は、10年後に、かなりの高確率で、航空業界への道を絶たれて本当に良かったと実感するであろう」と。私は、視力の問題でパイロットになれなかったが、そのお陰もあって、金融業界でアナリストやファンドマネジャーになることができ、本当に良かったと実感している。

なお、私は社会人になった後、色々回り道をした挙句、アナリストやファンドマネジャーになりたいと何十の証券会社や運用会社に履歴書を送った経験がある。しかし、ほぼ全社に落とされた。その挫折を乗り越えて、今の職業人生がある。前述の話と矛盾するようであるが、自分が「これだ」と確信した道を見つけたら、その達成に向けて死に物狂いで頑張らないといけない。よく、「若いころに戻りたいか」と質問されることがありますよね？ 私は、戻りたくない気持ちが、戻りたい気持ちをわずかに上回っている。なぜなら、もがき苦しんだ若き日の人生が、あまりにも苦しくて、もう一度味わいたいとは決して思わないからだ。

※本資料は、お客様への情報提供のみを目的としており、有価証券の売却もしくは購入を勧めるものではありません。従いまして、本レポートの使用による結果につきましてはファイブスター投信投資顧問株式会社が責任を負うことはできませんので、お取引の最終決定はお客様の判断と責任において行われるようお願いいたします。（敬称略で記載）

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## ファンドの特徴

### ☆☆☆☆ ファンドの目的

当ファンドは、絶対収益の獲得を目指します。

当ファンドは、主として日本株ロングショート戦略マザーファンドの受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)に投資を行い、「ロング・ショート戦略」を通じて、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ☆☆☆☆ ファンドの主な特色

当ファンドは、「ロング・ショート戦略」を通じて、絶対収益の獲得を目指す日本株ファンドです。

当ファンドは、わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)約4,000社から広くロング(買建て)とショート(売建て)の投資対象を選ぶことでリターンを極大化を目指します。具体的には1,000社を超えるユニバースの中から、ボトムアップリサーチによる個別企業分析を通じ、ファンドサイズに応じた最適な投資銘柄を選定し投資を行います。株価指数先物取引等も相場環境に応じて効果的と思われる局面で利用する場合があります。また、特定のベンチマークは設けずに、積極的に絶対収益の獲得を目指します。

より多くの投資テーマを追い求め、あらゆるセクターを投資対象にします。

ファンドマネージャーの「元金融アナリスト」という強みを生かして、金融・不動産セクターを最重要セクターと位置づけつつも、あらゆる投資テーマを追いかける中で全セクターを投資対象にします。したがって、バリュー株、グロース株のいずれも投資対象になります。投資テーマは、世界的なテールリスクの拡大、商品サイクルの短期化、金融市場の不安定性、技術革新の移り変わり等、様々な角度から貪欲に追及していきます。そうして得られた投資テーマに基づいて、最適なセクター・投資対象を抽出し機動的な投資を継続的にを行います。

中長期投資を主眼としながらも、短期的な投資リターンを極大化という観点も取り入れた運用を心がけます。

中長期投資は、「大局的な企業価値分析に基づく投資戦略の王道」と「短期投資の積み重ね」という二つの側面を有しています。前者の観点はもちろんのこと、これまで軽視されがちであった後者の観点も加味し、いかなる相場においても貪欲にリターン確保を目指すべく、必要であれば短期投資と目されるような機動的な売買も行います。

銘柄の選択や入れ替えを機動的に行います。

日次ベースでの最適ポートフォリオの累積が中長期の最適ポートフォリオ形成に繋がるとの信念の下、銘柄入れ替えは機動的に行います。例えば、投資収益機会が大きいと目される局面では、大胆にポートフォリオの拡張(投資銘柄数や一銘柄当たりの投資額の引き上げ)を行う一方、金融市場が不透明性を帯びた場合においては、迅速にポートフォリオの縮小(ディフェンシブ銘柄への入れ替えや総投資額の引き下げ)を行い、日次ベースで最適なポートフォリオの構築を目指します。

### ☆☆☆☆ リスク面への配慮

「分散投資」の徹底

原則として、ロング・ポジションで100銘柄～200銘柄程度、ショート・ポジションで50銘柄～100銘柄程度を保有します。これにより、銘柄分散を通じた最も基本的な意味でのリスク低減を図ります。加えて、セクター分散、投資テーマ内での銘柄分散、地域分散など、多様な観点からの分散を通じたリスク極小化を目指します。

各種リスクへの対処

- 日本株投資においては、他国の株式投資に比して、地震リスクを筆頭とした災害リスクへの備えがより強く求められます。特にロング・ポジション銘柄の選定に際し、災害リスクを常に念頭に置いたポートフォリオの構築を目指します。
- ボラティリティ(株価変動率)が高い銘柄(中小型株が典型)への買いに際しては、株価下落の可能性の高い類似銘柄を空売りするなどして、予想外の株価の上下動への備えを高めます。
- 世界的に、経済政策が金融緩和中心になっている状況を重く見て、金融政策との連動性の観点からバランスの取れた銘柄選択を行います。
- 日本の財政問題を常に意識したポートフォリオの構築(例えば金利上昇リスクへの配慮)を心がけます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未滿を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「配分方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## 投資リスク等

### 基準価額の変動要因

**信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。**

当ファンドは、投資信託証券(マザーファンド)への投資を通じて値動きのある有価証券などを実質的な投資対象としますので、当ファンドの基準価額は変動します。また、組入れられた有価証券等の価格の下落や、有価証券等の発行体の財務状況や業績悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被る場合があります。従って、**受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。**

主なリスクは以下の通りです。

### 有価証券の株価変動リスク

当ファンドは、実質的に国内の株式等を主要投資対象としますので、当ファンドの基準価額は当該株式等の価格変動の影響を大きく受けます。株式等の価格は、国内外の政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受けて変動します。従って、株式等の予想外の価格変動があった場合には、当ファンドに重大な損失が生じる場合があります。当ファンドでは、中小型株式や新興企業株式に投資する場合がありますが、中小型株式や新興企業株式の株式は、大型株に比べ株価が大幅に変動することがあります。

### 「ロング・ショート戦略」固有のリスク

当ファンドが投資する投資信託証券(マザーファンド)は、株式のロング(買建て)のほかに、株式のショート(売建て)を行いますので、ロングした株式の価格が下落した場合、またショートした株式の価格が上昇した場合には、当ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼし、場合によっては基準価額が大幅に下落する場合があります。また、ショートの特長上、損失が想定以上になることもあります(また、株式をショートするにあっては、借入コストが発生します)。

### 流動性リスク

市場取引量の急激な増大、市場規模の縮小、市場の混乱等の影響により、注文時に想定していた価格と大きく異なる価格で売買が成立する可能性があります。従って、組入れ有価証券等の予想外の流動性があった場合には、当ファンドに重大な損失が生じる場合があります。一般に中小型株式や新興企業株式の株式は、市場規模や取引量が少ないため、このような状況に陥る可能性が高い場合があります。

### 信用リスク

当ファンドは、投資信託証券(マザーファンド)への投資を通じて、実質的に投資している有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、基準価額が値下がりする場合があります。

### 解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが投資する投資信託証券(マザーファンド)において、組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できない場合があり、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※(ご注意) 以上は、基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ制度)の適用はありません。
- 当ファンドは、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンド購入価額によっては、分配金の一部または全部が実質的には元本の一部払戻に相当する場合があります。

### 分配方針

毎年4回(1月、4月、7月、10月の各25日。ただし、休業日の場合には翌営業日とします。)決算を行い、以下の方針に基づいて収益の分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益について、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、運用を行います。

※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

## 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## お申込みメモ

購入単位	1口または1円単位として販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	1口単位として販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
換金価額	換金(解約)受付日の基準価額に信託財産留保額を控除した額
換金代金	原則として換金(解約)受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、1億口または1億円以上の換金(解約)請求は、正午までをお願いします。
購入・換金・申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金(解約)の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金(解約)申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	原則として無期限です。
繰上償還	委託者は、純資産総額が1億円を下回ったときには、受託者と合意の上、信託期間を繰上げて償還させる場合があります。また、この信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が生じた場合には、受託者と合意の上、信託期間を繰上げて償還させることができます。
決算日	毎年4回(1月、4月、7月、10月の各25日。ただし、休業日の場合には翌営業日)
収益分配	年4回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
信託金の限度額	ファンドの信託金の限度額は1,000億円です。
公告	電子公告により行ない、委託会社のホームページに掲載します。 ホームページアドレス <a href="http://www.fivestar-am.co.jp">http://www.fivestar-am.co.jp</a> なお、やむを得ない事由により公告を電子公告によって行なうことができない場合には、公告は日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年4月、10月の決算時および償還後に交付運用報告書を作成し、知っている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用があります。 益金不算入制度の適用はありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時手数料はかかりません。購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、並びに販売の事務等の対価です。
信託財産留保額	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一部解約申込日の基準価額から、当該基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。</li> <li>● 信託財産留保額は、ご換金(解約)額から控除され、投資信託財産に組入れられます。</li> </ul>

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

ファンドの日々の純資産総額に**年2.365%(税抜 年2.15%)**の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)		年2.15%	運用管理費用＝日々の純資産総額×信託報酬率
	配分	委託会社	年1.60%	委託した資金の運用の対価
		販売会社	年0.50%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
		受託会社	年0.05%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

※表中の率は税抜きです。別途、消費税がかかります。

※信託報酬のほかに、実績報酬(ハイ・ウォーターマーク方式)を設けており、超過収益が発生した場合には収益の22.0%(税抜20%)が各計算期間末および償還時に支払われます。なお、当該費用は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することができません。

その他の費用・ 手数料	以下の費用・手数料等は、信託財産中から支払われます。	
	法定書類の作成・印刷・交付に係る費用	有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書(これらの訂正に係る書類を含みます。)、運用報告書の作成、印刷および提出に係る費用
	監査費用	監査法人等に支払う信託財産の財務諸表の監査に要する費用
	信託財産の計理業務およびこれに付随する業務に係る費用	信託の計理業務(設定解約処理、約定処理、基準価額算出、決算処理等)およびこれに付随する業務(法定帳票管理、法定報告等)に係る費用
	信託事務の処理に関する費用	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、信託財産において資金借入をした際の利息
	組入有価証券取引に伴う費用	組入有価証券の売買の際に仲介人に支払う売買委託手数料等
	公告に係る費用	信託の受益者に対して行なう公告に係る費用ならびに信託約款の変更または信託契約の解約に係る事項を記載した書面の作成、印刷および交付に係る費用
法律顧問および税務顧問に対する報酬および費用	法律顧問ならびに税務顧問等に支払う信託財産に関する法律・税務に対する助言等の費用	

※これらの費用等は、運用の状況等により変動するため、料率、上限等を予め表示することはできません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

## 日本株ロングショート戦略ファンド 愛称「いつつぼし」

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年10月30日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## ファンドの関係法人

委託会社: 信託財産の運用指図等を行います。

## 委託会社の照会先

ファイブスター投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2266号  
一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員ホームページアドレス  
<http://www.fivestar-am.co.jp/>  
お客様デスク  
03-3553-8711  
(受付時間:委託会社の営業日の午前9時~午後5時まで)

受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社  
(再信託受託会社: 日本トラスティー・サービス信託銀行株式会社)

販売会社: 受益権の募集・販売の取扱い、換金(解約)事務、換金代金・収益分配金・償還金の支払い等を行います。

## 販売会社の名称等

お取り扱い 販売会社一覧		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
日産証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第131号	○		○	

※加入している金融商品取引業協会を○で表示しています。

※上記の表は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から細心の注意を払い作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。